

プレス発表（英文訳）

平成 13 年 10 月 10 日

## ベカルト社と東京製綱株式会社の 新しい合併会社の設立

本日 N.V. ベカルト S.A.（以下「ベカルト社」）と東京製綱株式会社（以下「東京製綱」）は、アジアにおける極細メタルファイバー関連製品の開発、製造、販売を目的とする合併会社、ベカルト東網メタルファイバー株式会社（以下「ベカルト TMF」）を日本に設立することを発表する。新会社の株式資本は 8,800 万円で、出資比率はベカルト社が 70%、東京製綱が 30%、当初 15 人前後の従業員を採用して 2002 年初めに生産を開始する予定である。初年度は 4 億円超の売上を見積もっている。

代表取締役には、ベカルトアジア東京支社長である後藤進氏が就任する。

ベカルト社は、急成長をとげているビジネス・ユニットである「ベカルト・アドバンスドマテリアルズ」に属するベカルト・ファイバー・テクノロジーズ（BFT）（[www.bekaert.com/bft](http://www.bekaert.com/bft)）を通じて、メタルファイバーを製造・販売する世界のトップ企業である。

メタルファイバーは、直径 70～100 ミクロンの人間の毛髪よりも細い、直径 1～80 ミクロンの極細金属フィラメントである。これらメタルファイバーは様々な合金を材料として、フィルターメディア（濾材）およびフィルターエレメント、導電性プラスチック、導電性織布などの多様な製品、環境に配慮したガスバーナー、シールド用途、およびその他数多くの用途に幅広く使用されている。これらの製品のハイテク要素と多様な材質の可能性により、新製品および新用途を増やし続けている。

BFT はこれまでに、ポリマー濾過、インクジェット・プリンタ用フィルター、エアバッグ用フィルター、飲料および高温ガス用フィルター、導電性織布、耐熱織布、プラスチック用導電性添加材、および環境に配慮したバーナーなど、様々な産業分野への応用で、世界でトップの地位を築き上げてきた。

アジアにおいては、BFT はこれまで年率およそ 20% の成長を示しており、これらのマーケット・セグメントのほとんどで強固な地位を築き上げている。ベカルト社はその特殊かつ高度なテクノロジー、数多くの新製品や新用途により、この成長率が将来も維持されるものと予想している。

アジア地域における一層の成長を目指し、ベカルト社と東京製綱が協力することに合意した。合意内容では、東京製綱は集束伸線メタルファイバー事業を停止し、その関連資産のすべてが

ベカルト TMF に移転されることとなる。ベカルト TMF の主要生産拠点は東京近郊の土浦となる予定である。

この新合弁会社によりベカルト社は、インクジェット・フィルター、燃料電池および触媒回収、テキスタイル用途など、日本の様々なハイテク・ニッチ市場での新規開発に加わることが可能となる。

この新合弁会社は、一方で既存事業を最高の形に保ちつつ、また一方で新製品導入と新用途の開発を継続することによって、ビジネスを根本的にリニューアルするという、ベカルトのツイン・トラック戦略に、完全に適合するものである。これらの新製品および新用途は、常にベカルトのコアコンピテンシー（中核業務）である、金属加工およびコーティング・テクノロジーをベースとしているもので、高い潜在的成長性とエンドユーザーに近い商品によって、マーケットに貢献するものである。

東京製綱株式会社は 1887 年に設立され、ワイヤロープ業界の国内トップメーカーである。ワイヤロープやスチールコードを初め、エンジニアリング部門では橋梁・建築用ケーブルや環境建材製品を手掛け、一級の技術力を有する。また、新素材である炭素繊維複合材ケーブルの分野にも進出し、内外で実績を付けている。

ベカルト社（[www.bekaert.com](http://www.bekaert.com)）はベルギーに本社を置く、高度な金属加工およびコーティング・テクノロジーを有する世界のトップメーカーで、2000 年度の売上高は 27 億ユーロであった。1880 年に設立された当社は世界中に 80 を超える生産工場と、17,200 人の従業員を有する。

発表終わり

本件に関するお問い合わせ先：      ベカルトアジア東京支社   和泉  
電話：03-5542-7770      ファックス：03-5542-7771